

大間原子力発電所での MOX 燃料利用計画について

当社は、現在、大間原子力発電所について、原子力規制委員会による新規制基準への適合性審査を受けております（2029年後半安全強化対策工事終了見込み）。大間原子力発電所の MOX 燃料に必要なプルトニウムは、国内の電力会社が国内外の再処理工場で回収し所有するプルトニウムから譲渡されることとなっており、今般、電気事業連合会の「プルトニウム利用計画」公表に合わせて、大間原子力発電所での MOX 燃料利用計画を下記の通りお知らせします。

記

大間原子力発電所では、MOX 燃料を計画的かつ段階的に利用していくことを基本的な考え方としております（2010年3月15日付「大間原子力発電所での MOX 燃料利用計画について」）。

全炉心に MOX 燃料を装荷する段階（取替燃料として、毎回、炉心の 1/3 程度の MOX 燃料を装荷）において、1 年間に利用するプルトニウム量（装荷する MOX 燃料に含まれるプルトニウム量を 1 年あたりに換算した年間利用目安量）は約 1.7 トンとなる見通しです。

以 上